

指定管理者制度導入施設の管理運営検証結果【検証シート】

		管理No.
施設の名称	弓張平公園	指定管理者 弓張平公園管理運営企業体
所在地	山形県西村山郡西川町大字志津 1 7 2 - 3	県担当課 村山総合支庁 建設部 西村山道路計画課
指定期間	令和5年 4月 1日 ～ 令和10年 3月31日	(電話番号) (0237-86-8127)
検証期間	令和7年 4月 1日 ～ 令和8年 3月31日	

検証項目	指定管理者による自己検証	県(施設所管課)による評価・検証
1 仕様書等に沿った管理・運営業務の履行状況		
① 管理・運営業務の履行状況	・管理基準に基づき適正に実施しました。 ・施設や設備機器の損傷、害獣の出没、天候など緊急性を伴うことや、利用者の安全に支障があるものについては、県の担当者と連携を図り適切に対処しました。 ・園地管理においては、植物の生育や熊への対策の必要性に合わせて管理水準書以上の作業の実施や、業務の振替を行うなどより良い施設とするための管理業務を実施しました。	評価 A 《評価の理由》 ・維持管理水準に基づいた適切な管理がなされている。 ・維持管理水準を上回る点では、ハチの巣の駆除やクマ出没時の利用者への周知対応について、迅速かつ適正であった。
② 管理・運営上の課題、問題点(改善すべきこと)	・施設の経年劣化による不具合や破損が多く、修繕費が予算を大幅に超えているため適切な対応が必要です。 ・公園利用者を増やすために現代のニーズ合わせた施設の改修が必要です。 ・管理水準書に記載のない業務の透明化が必要です。 ・天候や熊出没によりキャンプ場利用者が減少するため収入減への対策と協議が必要です。 ・令和7年度は熊の出没が全国的に多く、公園でも熊が出没することがあったため、熊への対応のための通常業務をひっ迫することがありました。より良い施設運営とサービスを提供するために、業務を分業化するなど検討が必要です。	《課題等の原因分析》 ・経年劣化と雪害による施設の破損が各所で発生しており、降雪により修繕可能期間も限られるため、計画的な対応が必要。 ・現在の管理水準や必要な維持保全の他、クマ対応や酷暑対応が必要となり、運営費の上昇に拍車をかけている。 ・有料施設のキャンセル料の設定が無いため、急なキャンセルによる施設の空きにより、施設予約時の想定収入よりも年間100万円程度収入が少ない。
課題、問題点への今後の対応	・施設の破損箇所について、今後とも適切な保守点検と保全処置により施設の長寿命化に努め、計画的な修繕・改修等を行っていく。 ・引き続き維持管理水準と現状の乖離について情報を収集し、具体的な金額で乖離を表し、対策を検討していく。	
2 利用者からの要望等への対応		
① 意見・要望等及びその対応状況	・冬期間利用の要望があり地元団体、西川町等と弓張平公園の冬季利用に向け連携を図りました。 ・今後とも冬季間のパークプラザ活用と地域との連携を地域の方より期待されています。 ・施設の適切な清掃による施設の快適さや、緑地の適切な整備による景観の美しさなど好意的な意見が多かったです。 ・家族連れの利用者が多いため、キャンプ場にも遊具などの遊ぶ場所の整備を求める声がありました。	評価 A 《評価の理由》 ・自主事業による地域連携を行うことで、冬季間の施設利用を要望する地域の声に応えることに努めた。 ・施設の適正な管理により、施設の快適性や景観整備に努めた。 ・キャンプ場利用者を中心とした利用者からのアンケート収集により、公園への要望収集に努め、温泉割引券の配布等の具体的な対応につなげることができており、優れた対応といえる。
意見・要望等への今後の対応	・地域の要望に可能な限り寄り添い、地域連携を図っていく。 ・今後とも適正な施設管理に努め、快適な施設を運営していく。 ・定点的、継続的に幅広い利用者からのアンケート収集に努め、施設の改善に活かせる情報にしていく。	
3 指定管理者制度活用の効果		
① サービスの向上	・夏と秋のイベントに加えて、パークヨガやテントサウナ、軽食販売、星空鑑賞会、カヌー試乗会など公園利用者の満足度を上げるための事業を実施しました。 ・SNS、HPでの情報発信から情報誌等などによる広報など様々な媒体において効果的なPRを行い誘客を図りました。 ・電子決済システムを導入し利便性向上を図りました。 ・温泉が欲しいという要望に応えるため、温泉施設と連携した割引券の配布を実施しサービス向上に努めました。 ・様々なアクティビティやイベントの提供、サービスの向上を図ることで、目標としていた利用者数を達成しました。	評価 A 《評価の理由》 ・過去の利用者からの要望を受けたサービスの実施に努め目標とする利用者数を達成した。 ・様々な情報媒体を利用して公園の魅力を発信し、利用者の利便性向上に努めたことは、優れており、特にTシャツの作成により、利用者が一目でスタッフを見分けることができるようにしたこと、利便性の向上に大きく貢献したといえる。
② 経費の節減	・作業車に電気自動車を導入するなど化石燃料の削減に努めました。 ・職員間のやり取りは紙ではなく情報共有システムを利用しました。 ・冬季休業期間は職員の休日を合わせ効率化するなど、施設での作業時間を短縮し電気などの使用量を削減しました。 ・経年劣化や厳しい気候条件により修繕業務が多いことから、専門業者と連携しやすい体制を整えるとともに、施工方法の提案や現場管理を行える職員を配置しました。これにより、直営で対応可能な修繕は直営で実施し、委託による調査費や管理経費を極力抑え、多くの修繕を実施することができました。	評価 A 《評価の理由》 ・休日の調整や燃料・紙の削減を行い経費の節減に努めた。 ・企業体の特性を活かし、直営対応で委託経費の節減に努め、厳しい気象条件の中でも成果をあげることができたことは優れているといえる。
③ その他(地域の活性化、雇用の確保等)	・周辺地域の事業(イベント、周辺部草刈り等)にボランティアとして参加しました。 ・地域の方を臨時職員として積極的に採用しました。 ・清掃作業、刈払い作業等で西川町シルバー人材を積極的に活用しました。 ・町や観光協会などのイベントに施設を貸し出すなど積極的に協力し、公園利用者の増加にもつながりました。 ・キャンプ場施設受付業務を西川町総合開発に委託したり、その他の委託業務や修繕業務においても積極的に地域の企業を利用しました。	評価 A 《評価の理由》 ・ボランティアへの参加や地域人材の採用を通して地域貢献を行った。 ・町等のイベントに施設を利用してもらうことで、公園の利用者増加に努めた。 ・雇用の確保において、多様な世代の採用と地域企業への委託により地域での雇用にも貢献したことは優れた対応といえる。
総合的な評価	概ね適切な管理運営がなされている。 引き続き地域と連携しながら、公園の活性化に努め、利用者の増加に貢献していくことが求められる。 情報発信について、県、地域、イベント関係者と連携し、様々な媒体を通して公園の魅力を経済的かつ効率的に発信し、情報が必要な利用者届けに行くことが求められる。	

【評価指標】

- A : 仕様書等に定める水準を上回っている等、優れた対応がなされている。
- B : 概ね適正に実施されている。
- C : 部分的に改善等を要するところがあるが、既に対応済み又は対応見込みである。
- D : 仕様書等に定める水準に達しておらず、大いに改善を行う必要がある。

注1) 検証項目については、施設の特性等に応じて適宜追加することができるものであること。

注2) 県(施設所管課)による評価・検証については、具体的な事例や数値により、評価した点を分かりやすく記載すること。